

令和6年度普及活動アルバム

木曽農業農村支援センター

～未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食～

第4期長野県食と農業農村振興計画の木曽地域計画に則った4つの基本目標に沿って普及活動を展開してまいりました。

「新たな品目導入による産地の活性化」を重点活動課題とし、酒米・花木の生産振興に取り組むとともに、一般課題では、多様な担い手の育成、木曽ブランドを支える農畜産物の生産振興、持続可能な農村づくり、地産地消と食農教育などの課題に取り組み、一定の成果をあげることができましたのでその一部を紹介させていただきます。



【通年】重点活動

◆酒米

長野県育成の酒米「山恵錦」の生産振興に取り組みました。

生産者と酒造メーカー、町村、JA等の関係機関参集による酒米の現地検討会を開催した他、酒米の新系統の特性把握も行い、導入の可能性について検討しました。

既存酒米生産者組織の活動支援も行うなど、今後も消費者ニーズに応える取組みについて推進してまいります。



【通年】重点活動

◆花木

木曽管内は生産者の高齢化、担い手不足、鳥獣害等による農地の荒廃化が課題となっており、花木の生産振興を進めています。

啓翁桜は株養成期間短縮の講習会などにより生産性・作業性・品質向上を目指しています。また、アメリカテマリシモツケ、ノリウツギといった新規花木についても木曽地域での栽培適応性を検討しています。



【通年】

◆農業入門講座

農業の多様な担い手確保のため、農業に関心のある定年退職者や移住者等を対象に農業入門講座を開講しました。

令和6年度は10名が受講し、圃場での実践講座8回、座学の基礎講座を4回開催した他、希望者には現地視察も行いました。

受講生のスキルアップのためフォローアップを継続しています。



【通年】

◆地域計画策定

農業経営基盤強化促進法等の一部改正に伴い「地域計画」の策定が法定化されたため、各町村にて集落の協議の場における指導助言等、策定に係る支援活動を行いました。

令和7年3月には管内全町村において15の地域計画が策定されました。これら計画の実践に向け関係機関と連携し取り組んでまいります。



【5月】

◆自給飼料増産

購入飼料価格の高騰が畜産経営を圧迫しており、自給飼料の安定生産が課題となっています。

その対策のひとつとして、管内の牧草地において作溝播種機を利用した簡易草地更新の実演会を行い、牧草の生育・収量を調査しました。

遊休荒廃地解消の一助にもなり得る手法として期待されます。



【9月他】

◆魅力発見セミナー

新規就農者の確保のため、高校と連携して高校 2 年生を対象としたセミナーを開催しました。

令和 6 年度はのべ 4 回開催し先進農家の活動事例紹介や調理実習、加工研修等を行い農業の魅力を伝達できました。

高校生が農業を進路の選択肢の一つとして考えてくれることを期待しています。



【9月】

◆茶の共進会

近年は温暖化で春先の生育前進による凍霜害のリスクが高まっている中、圃場巡回により摘採期予測を行いその回避に努めました。

これらの活動により、県の共進会では県内 5 市町村から 124 点が出品され、知事賞を含む 18 点の入賞者がありましたが、うち 10 点は木曽管内の生産者による出品物でした。

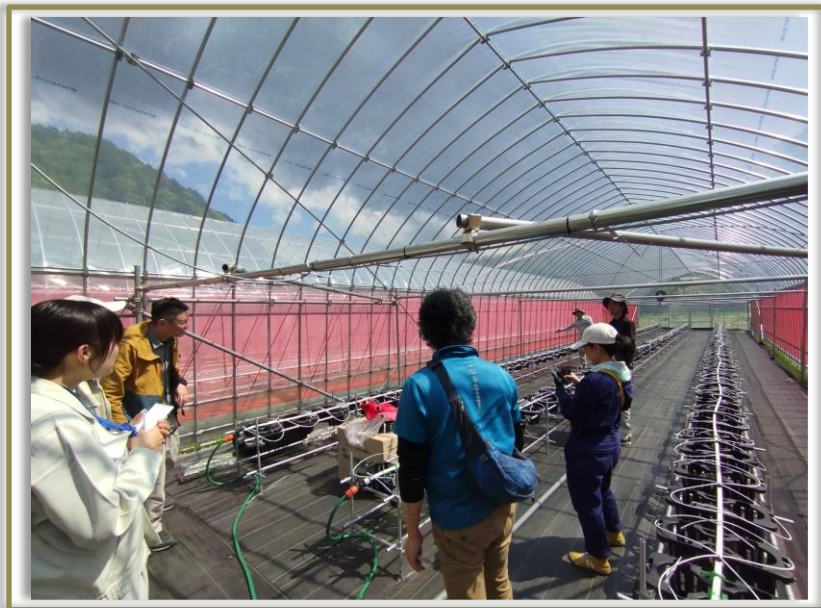


【10月】

◆御嶽はくさい

近年は温暖化等による気候変動が著しく、特産である「御嶽はくさい」への影響が懸念されています。

このような環境変化に対応した安定生産を支援するため、高温期収穫作型における優良品種の検討や、排水不良・土壌水分の実態調査、適正施肥による減肥に向けた栽培試験などの土づくり支援に取り組みました。



【10月他】

◆新規就農者個別巡回

研修を修了した、あるいは国の助成事業を受けている新規就農者に対しては個別に巡回指導を行いました。

年度当初に対象者と課題や目標を明らかにしておき、町村やJA等の関係機関とも連携して支援にあたってきました。

新規就農者の早期の技術習得と経営安定、営農意欲継続を目指しています。



【10月】

◆牛乳・乳製品利用料理講習会

地域の農業振興、村づくり活動等の課題解決に女性の立場から取り組む女性農業リーダー育成とその組織活動を支援しています。

10月には牛乳・乳製品料理の普及と国産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に料理講習会を開催しました。

牛乳料理の新たなレシピを知ることができました。



【2月】

◆食育授業

木曽ならではの農畜産物を活用した食育活動を進めました。

管内の小学校等4校において木曽牛、赤かぶ、すんき漬け、御嶽はくさい等についての授業を行い子供たちの地域伝統食への関心を高めることができました。